

Japanese Utility Model Publication No. 64-41006

Application No.: 112536/1988
Application Date: October 14, 1983
Publication Date: March 10, 1989
Designer: Fumio Oshima
Applicant: Rinnai Corporation

Title of the Device: Cooking Appliance

Summary:

This document discloses a cooking appliance that includes a appliance body 2, a heat source 1 such as, for example, a gas burner accommodated in the appliance body 2, and a glass top board 4 mounted atop the appliance body 2. The top board 4 has an opening 3 defined therein, through which the heat source 1 is exposed.

The cooking appliance also includes a tripod 5 supported by the top board 4 to support a pan or pot above the heat source 1. A protective member 6 made of, for example, a metallic plate is interposed between the top board 4 and an upper surface of the appliance body 2 and extends from the upper surface of the appliance body 2 to a lower surface of a portion of the top board 4 that is positioned below the tripod 5.

By this construction, if the top board 4 is damaged, the tripod 5 is received by the protective member 6, making it possible to prevent the pan or pot from being overturned and also prevent the heat source 1 from causing a fire.

公開実用 昭和64- 41006

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭64-41006

⑬ Int. Cl.⁴
F 24 C 15/10

識別記号

庁内整理番号

B-6909-3L
D-6909-3L

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月10日

審査請求 有 (全頁)

⑮ 考案の名称 調理器

⑯ 実 願 昭63-112536

⑰ 出 願 昭58(1983)10月14日

⑱ 実 願 昭58-158085の分割

⑲ 考 案 者 大 島 文 雄 愛知県名古屋市中川区福住町2番26号 リンナイ株式会社
内

⑳ 出 願 人 リンナイ株式会社 愛知県名古屋市中川区福住町2番26号

㉑ 代 理 人 弁理士 北村 欣一 外3名

明 細 書

1. 考案の名称

調理器

2. 実用新案登録請求の範囲

内部にガスバーナその他の熱源(1)を有する調理器本体(2)の上面に、該熱源(1)が上方に臨む開口(3)を有するガラス天板(4)を備えるものに於いて、該熱源(1)の上部に臨む鍋等を受ける五徳(5)を該ガラス天板(4)に支承させると共に該天板(4)と該本体(2)の上面との間に介在させて、本体(2)の上面から該天板(4)に支承される五徳(5)の下部の天板(4)の下面に亘る金属板その他の保護部材(6)を設けて成る調理器。

3. 考案の詳細な説明

本考案はドロップイン式のガスこんろその他の調理器に関する。

従来この種調理器として、内部にガスバーナその他の熱源を有する調理器本体の上面に、該熱源が上方に臨む開口を有するガラス天板を備えるものは知られるが、この場合該ガラス天板



に支持されて五徳を設ける場合、天板は強化ガラスを使用しても全く破損しないとはいい切れず、該破損によれば、該五徳上の鍋等が転倒し、これによって熱源も倒れ、使用中にかかる事態が発生した場合火災を起す原因ともなる。

本考案はかかる不都合のない調理器を得る異をその目的とするもので、内部にガスバーナその他の熱源(1)を有する調理器本体(2)の上面に、該熱源(1)が上方に臨む開口(3)を有するガラス天板(4)を備えるものに於いて、該熱源(1)の上部に臨む鍋等を受ける五徳(5)を該ガラス天板(4)に支承させると共に該天板(4)と該本体(2)の上面との間に介在させて、本体(2)の上面から該天板(4)に支承される五徳(5)の下部の天板(4)の下面に亘る金属板その他の保護部材(6)を設けて成る。

図面はドロップイン式のガスこんろの場合を示すもので、その場合該熱源(1)はガスバーナから成ると共に該本体(2)はカウンタ(7)に形成される開口(8)内に嵌合されてその上部外周の突鐸(2a)でこれに支承されるようにし、かくて該天

1511

板(4)は該保護部材(6)を介して該突鉤(2a)上に載置支承されるようにした。

尚該保護部材(6)は図示するものは金属板としたがこれは合成樹脂板その他の耐熱性で且つ強度のある板材製とし更に金網製とする等任意である。

而して該天板(4)の開口(3)には、これに嵌合して支承される汁受皿(1a)を備え、該五徳(5)は該汁受皿(1a)を介して該天板(4)の開口(3)の周縁部に支承させた。

尚(1b)は該天板(4)の下部側方に臨むガスコックその他の制御部材、(9)は天板(4)の外周縁を保護する保護片を示す。

その作動を説明するに、該保護部材(6)は該ガラス天板(4)の下面を受けるもので、万一ガラス天板(4)が破損しても、該ガラス天板(4)に支承される五徳(5)は該保護部材(6)に受けられて落下することがない。

このように本考案によるときは、該ガラス天板(4)が破損しても五徳(5)は該保護部材(6)に受け



られて落下することがなく、これによって該五徳(5)上に載置される鍋等が転倒し、又はこれによって特に熱源(1)が使用中に倒れて火炎を発生する等の不都合を未然に防げる効果がある。

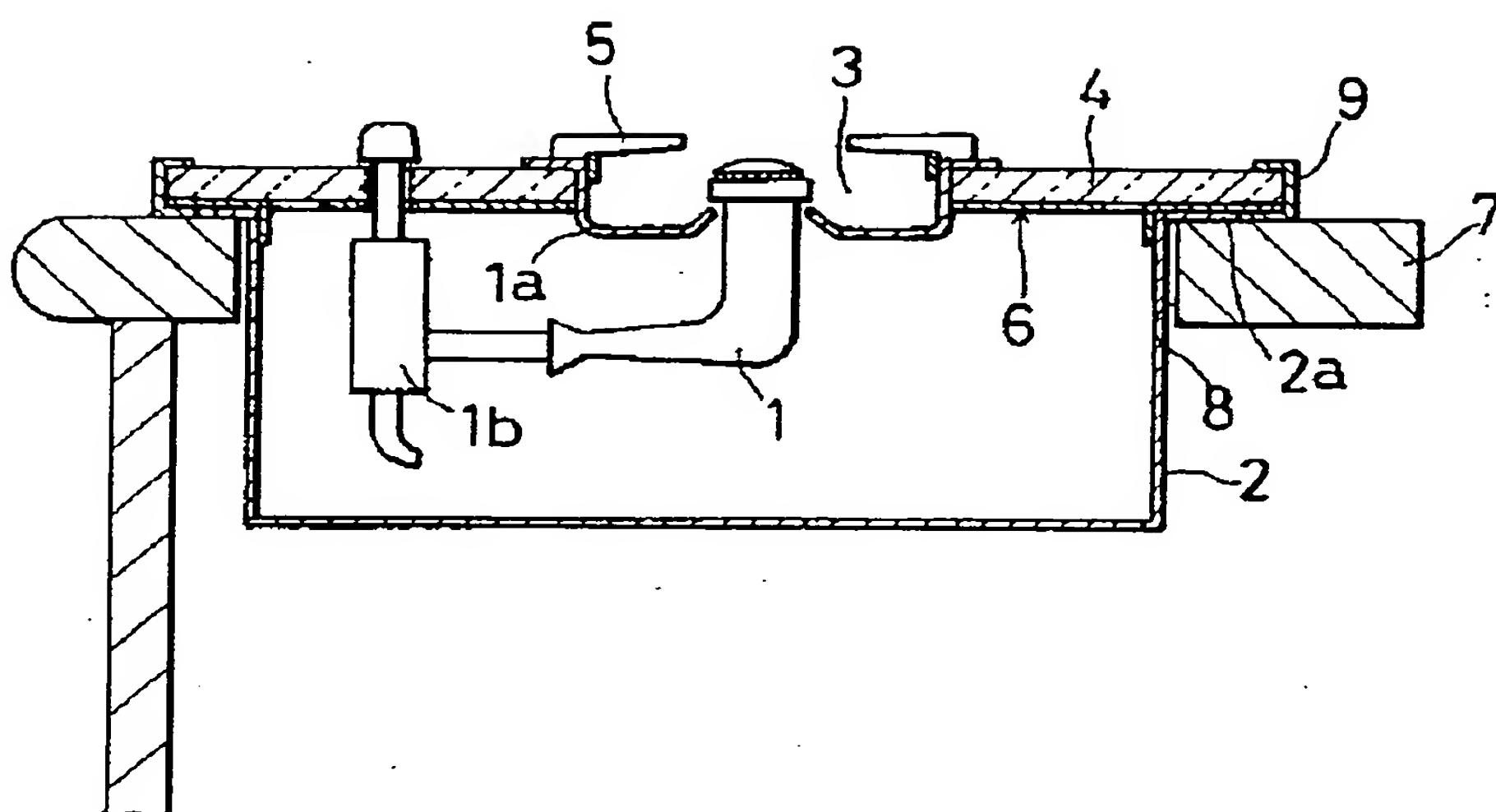
4. 図面の簡単な説明

図面は本考案実施の1例の截断側面図を示す。

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) … 熱 源 | (2) … 調理器本体 |
| (3) … 開 口 | (4) … ガラス天板 |
| (5) … 五 徳 | (6) … 保護部材 |

実用新案登録出願人 リンナイ 株式会社
代 理 人 北 村 欣 一
外 3 名





77

実開特許-41006

代理人 北 村 欣 一

他 3 名